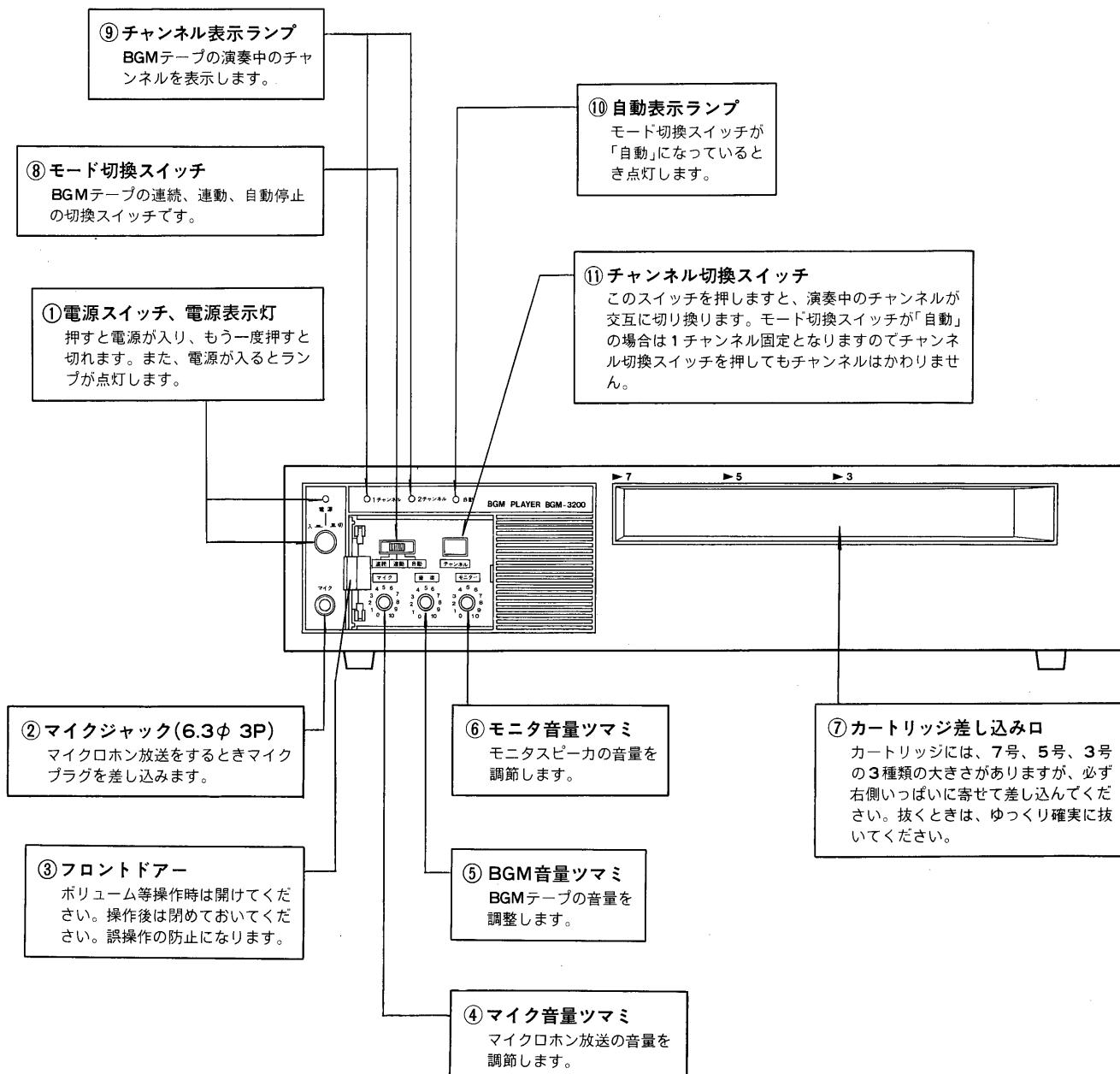


## 東芝BM演奏装置取扱説明書

### BGM-3200 (EIA 2Uサイズ)

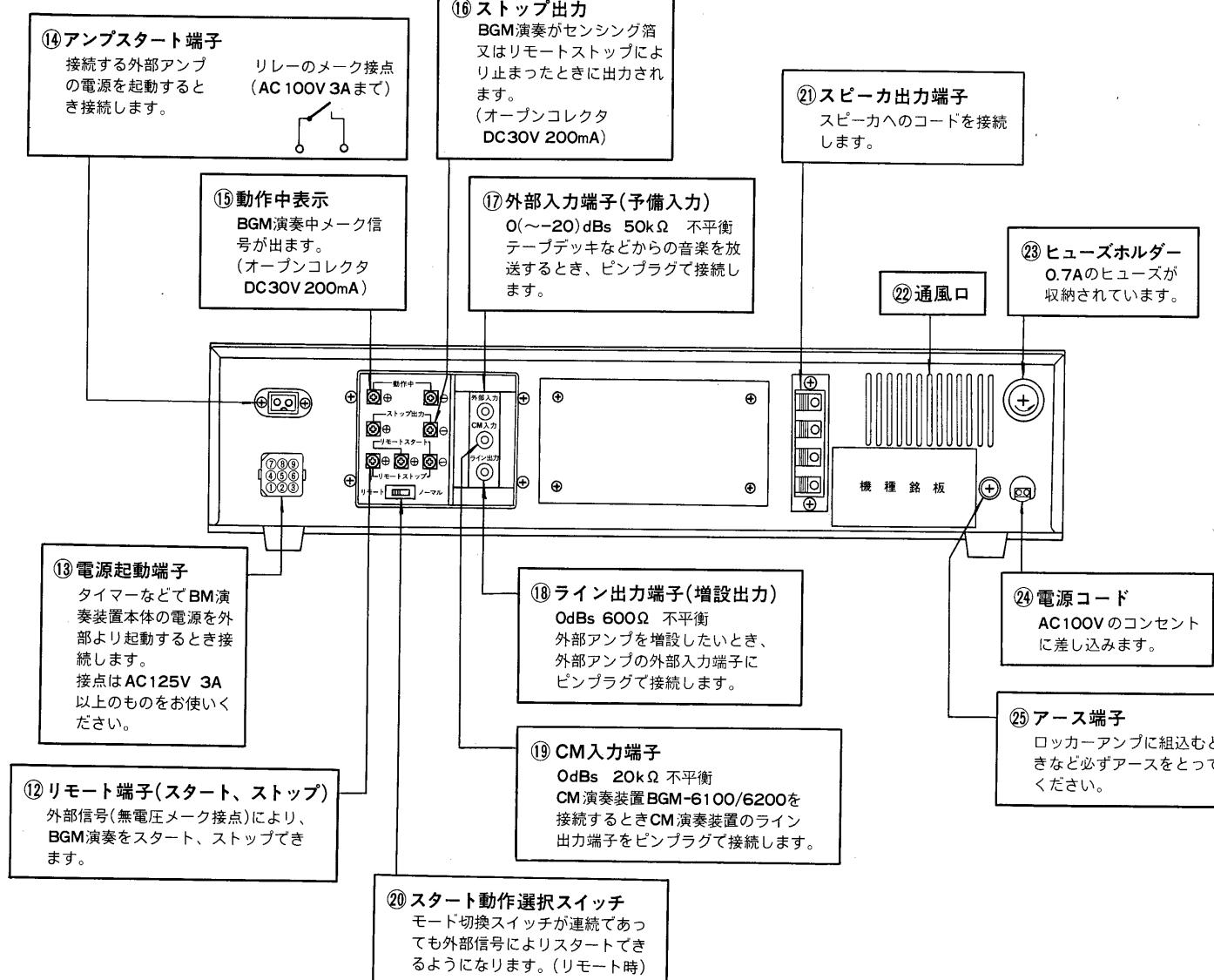
このたびは東芝BM演奏装置をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。  
お求めのBM演奏装置を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。  
なお、お読みになったあとは必ず保存してください。

#### 各部のなまえ



#### 工事店様へ

工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。



## 特にご注意を

- 必ずアースを取り付けてご使用ください。
- 感電事故防止のため、必ず㉕アース端子(アース)からアース線をつなぎ、ロッカーアンプの筐体やアンプのアース端子等へつないでください。
- B M演奏装置の改造は絶対になさらないでください。
  - ご自分で改造されると、電気用品取締法に抵触するおそれがあります。また、故障の原因にもなります。
- ご使用の際、㉒通風口をふさがないでください。
  - 装置内部の温度が上昇して部品が焼損するおそれがあり、大変危険です。
- 針金や銅線をヒューズのかわりに使用しないでください。
  - ヒューズは装置内部に異常がおきたときの事故防止に使用しております。ヒューズを交換するときは指定容量(0.7A)のものと交換してください。
- 機器(スピーカなど)接続の際、必ず㉔電源コードをコンセントから抜いてください。
  - 電源コードをコンセントから抜かないで接続することは、感電事故の原因となり、大変危険です。
- アンプスタート端子の容量はAC100V 3Aまでです。接続機器の容量にご注意ください。

## 取り付けかた(設置工事をされる人に)

### ■設置場所の選定

- この装置は風通しが良く、ホコリの少ないところに設置してください。
- 温度の高いところ(直射日光のさしかかる窓、ストーブなどの暖房機器の近く)や湿気の多いところ(水道の蛇口のある近く、厨房)には設置しないでください。
- 重さが約6.3kgありますので、しっかりした台や机の上に水平に設置してください。

## ■スピーカとの接続のしかた

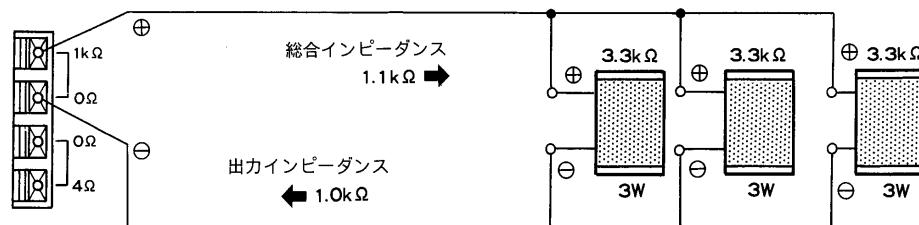
- 東芝スピーカには、ロー(低)・インピーダンス形と、ハイ(高)・インピーダンス形があります。スピーカのコードを背面の⑩スピーカ出力端子に接続するときは、ノブを押しながらスピーカのコードを差し込んでください。
- スピーカ出力端子とアンプの出力インピーダンスの関係はつぎのとおりです。

スピーカ出力端子表示	定格出力時伝送電圧	アンプの出力インピーダンス	適合負荷インピーダンス (接続スピーカの総合インピーダンス)	各伝送電圧使用時 3Wスピーカの適合数量
1kΩ - 0Ω	100V	1kΩ	1kΩ ~ 3.3kΩ	1 ~ 3 個
4Ω - 0Ω	—	4Ω	4Ω ~ 16Ω	接続方法により変化します。

- スピーカは同じ伝送電圧のものを接続してください。

スピーカの接続例

[例 1] ハイ(高)・インピーダンススピーカを接続する場合



スピーカ出力端子の  $1\text{k}\Omega - 0\Omega$  へ接続します。このとき

$$\text{アンプの出力インピーダンス: } 1\text{k}\Omega \quad \text{スピーカの総合インピーダンス: } 3.3\text{k}\Omega \div 3 = 1.1\text{k}\Omega$$

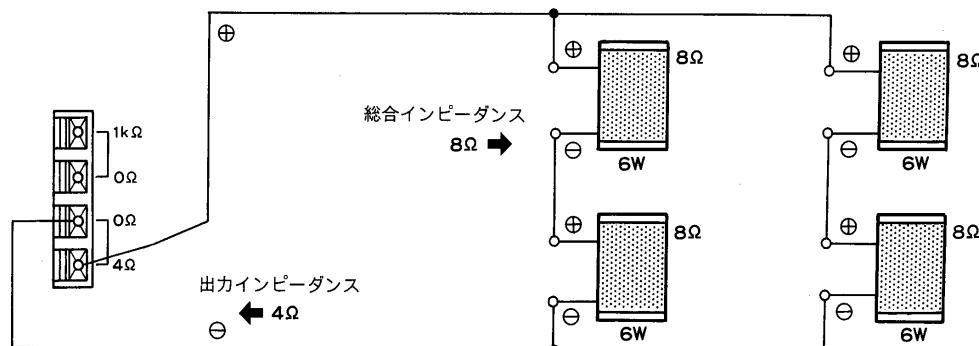
$$\text{アンプの出力電力: } 10\text{W} \quad \text{スピーカの総合定格電力: } 3\text{W} \times 3 = 9\text{ W}$$

となります。

この接続は、アンプの出力インピーダンスとスピーカの総合インピーダンスがほぼ整合しており、スピーカの総合定格電力はアンプの出力電力と等しいので好ましい使い方です。

スピーカの数( $3\text{W}$ のスピーカ)がこの方法より少ない場合には支障はありません。[ダミーロード(擬似負荷)は必要としません]が、スピーカの数が多い場合には別にアンプを増設してご使用ください。接続方法は4ページ「外部アンプを増設して使用するとき」をご参照ください。

[例 2] ロー(低)・インピーダンススピーカを接続する場合( $8\Omega$   $6\text{W}$ スピーカ 4個使用)



スピーカ出力端子の  $4\Omega - 0\Omega$  へ接続します。このとき

$$\text{アンプの出力インピーダンス: } 4\Omega \quad \text{スピーカの総合インピーダンス: } 8\Omega \times 2\text{ 個} = 16\Omega$$

$$16\Omega \div 2\text{ 回路} = 8\Omega$$

$$\text{アンプの出力電力: } 10\text{W}$$

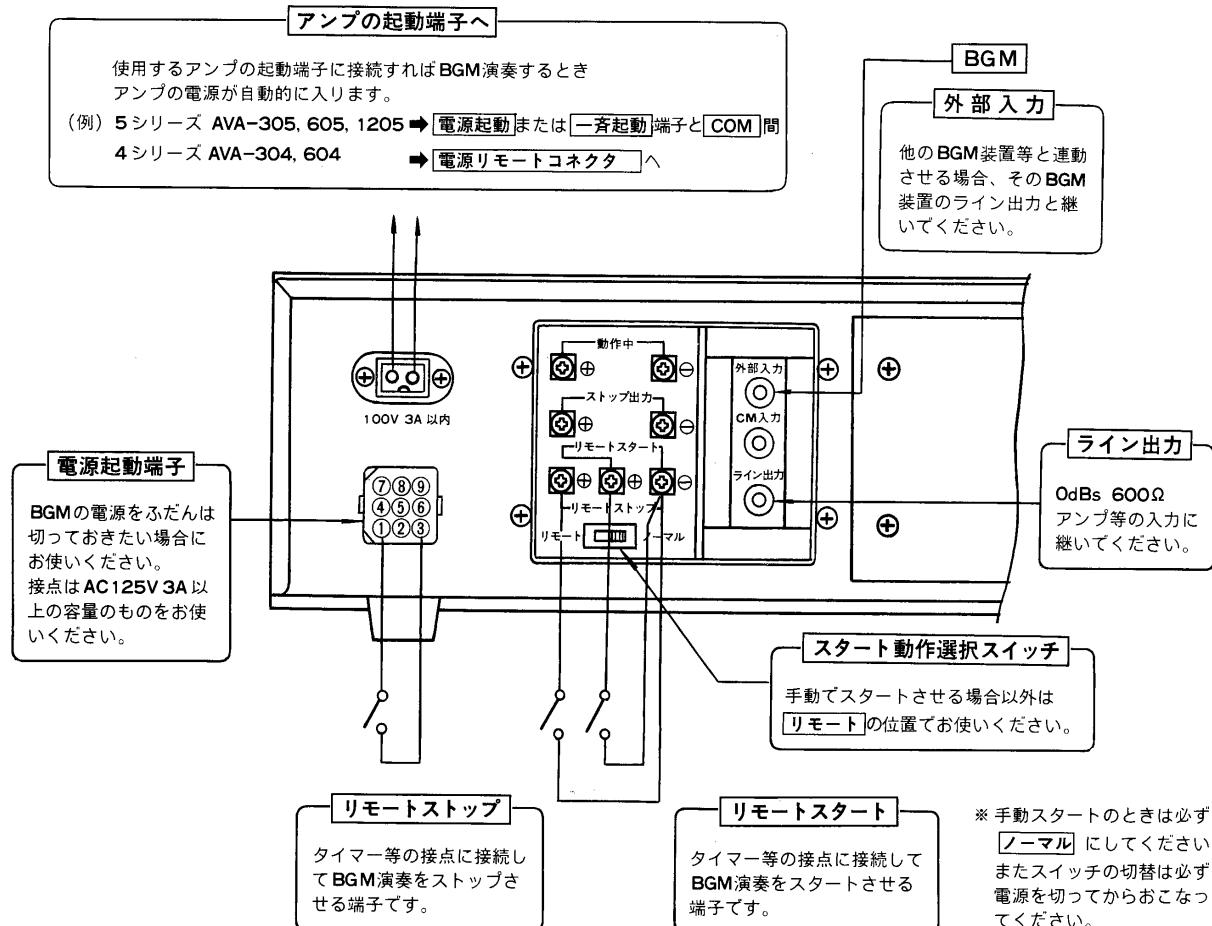
$$\text{スピーカの総合定格入力電力: } 6\text{W} \times 4\text{ 個} = 24\text{W}$$

となります。

この接続は、アンプの出力インピーダンスとスピーカの総合インピーダンスはほぼ整合しており、スピーカの総合定格入力(スピーカの許容入力電力)はアンプの出力電力より余裕があり、好ましい使い方です。

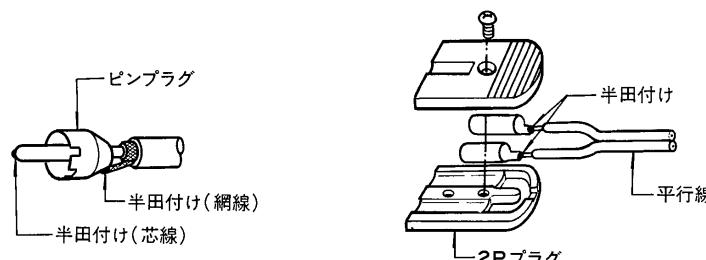
## 接続のしかた(機器間)

### ●連続および自動演奏での接続



### ■外部アンプを増設して使用するとき。

- (1)外部アンプを増設しますと、スピーカーの数をふやすことができます。  
外部アンプはBGM演奏装置と連動して電源スイッチの「入」「切」ができます。
- (2)⑩ライン出力端子と外部アンプの「外部入力(AUX)」端子をピンプラグで接続します。  
外部アンプは電源(AC100V) 容量が3A(300VA)以下のものをご使用ください。
- ピンプラグと外部アンプスタート用2Pプラグの接続のしかた



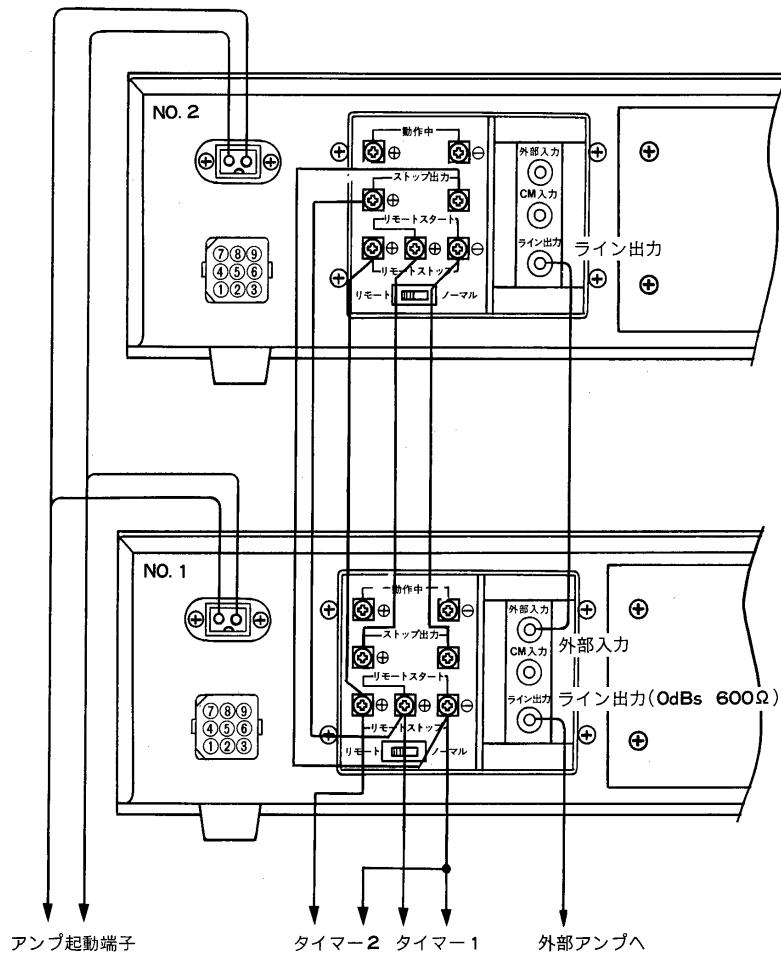
- (3)外部アンプの電源コードは一般のAC100Vコンセントへ差し込んでください。
- (4)外部アンプの接続や操作方法については、外部アンプに付属の取扱説明書をお読みください。

## リモートスタート、リモートストップを使うには

- ①スタート、ストップ両方を使う場合には2回路以上持っているタイマーで時間が各回路別々に設定できるものが必要です。  
(AMT-2000、AMT-2100、AMT-1000、ABT-4201など)
- ②スタートまたはストップのみの場合にはABT-3201がお使いいただけます。
- ③AMT-1000、ABT-3101、ABT-4201の鳴り時間設定は最小にしてください。  
AMT-2000、AMT-2100の場合は接点の動作時間を2~5秒程度としてください。  
設定の詳細はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。
- ④オーブンコレクタで入切する場合は、極性 $\oplus/\ominus$ に注意してください。

### ●連動演奏での接続

(例) BGM-3200 2台のとき

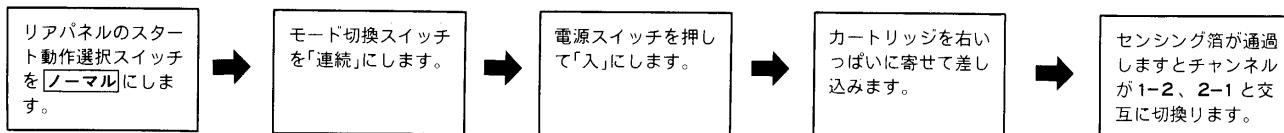


- タイマーで設定された時間にBGM No.1がスタートして演奏終了するとBGM 1のストップ信号によりBGM 2がスタートします。BGM 2演奏終了後BGM 2のストップ信号によりBGM 1がスタートし以後このくり返しにより連続演奏されます。
- ストップ出力端子、リモート端子間を繰ぐときは、有極性ですので間違いないようご注意ください。
- 演奏をきまった時刻でストップさせるには、リモートストップをお使いください。

## 操作のしかた

### ①連続でBGM演奏するとき

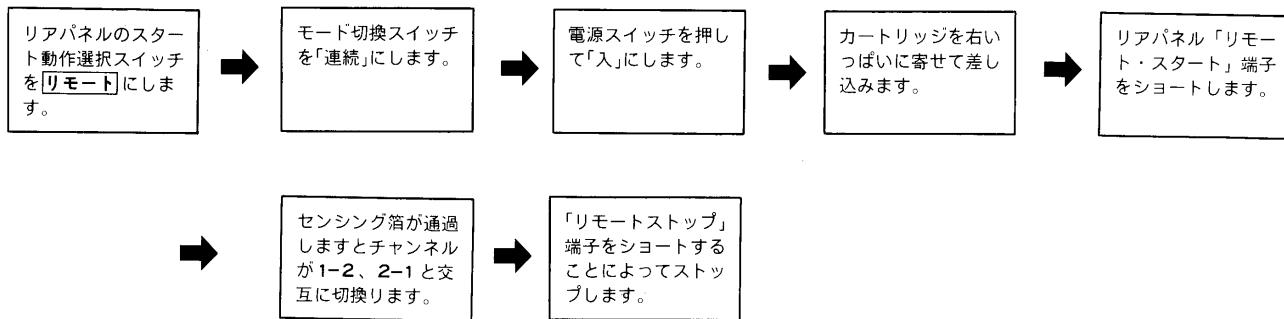
#### ①手動演奏



**ご注意** ⑦手動チャンネル切換スイッチでチャンネルが切り換わります。

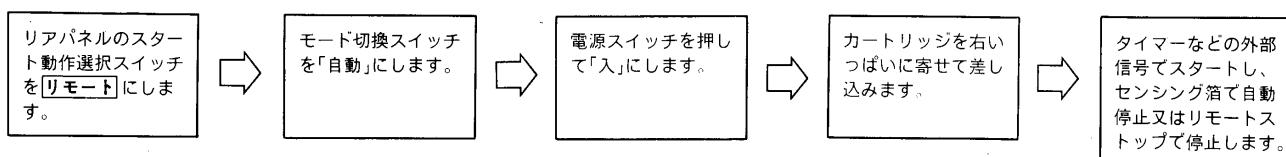
BGM演奏は、(1)カートリッジを抜く、(2)リモートストップ端子をショートする、(3)電源を切るいずれかの操作をすることで止まります。

#### ②自動演奏(タイマー等による)



**ご注意** 背面パネルの**スタート動作選択スイッチ**は、必ず電源の切れているときに切り換えてください。電源の入っているときに切り換えるとモードは変わりません。機器間の接続例は4ページをご覧ください。

### ②自動演奏(チャンネル1固定)



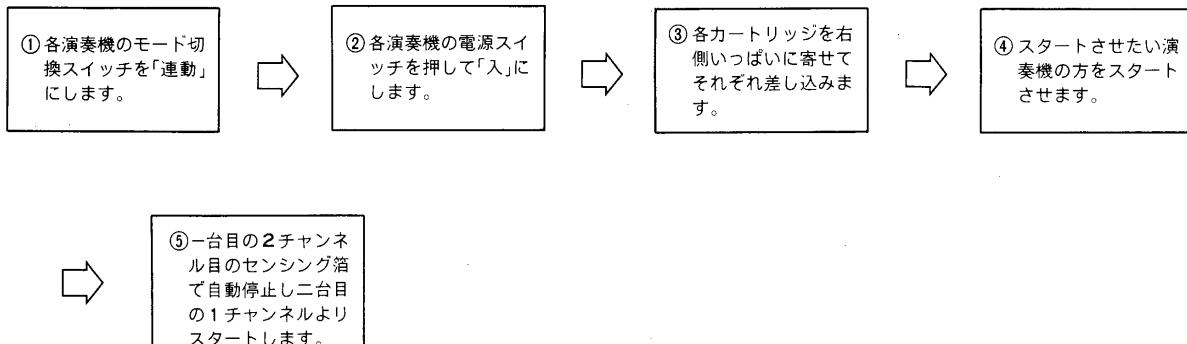
**ご注意** チャンネルは1チャンネル固定になります。

手動によりスタートさせたいときは一度**運動**にしてスタートさせてすぐに**自動**に戻してください。

このモードでは、スタート動作選択スイッチの位置はノーマルにしておいてください。

機器間の接続例は4ページをご覧ください。

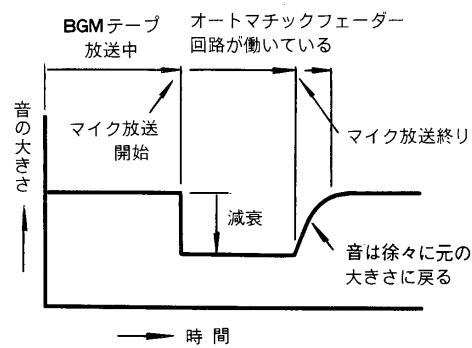
### ③連動演奏(BGM装置を2台、3台と連動させるとき)



- このモードでは、スタート動作選択スイッチの位置は**リモート**にしておいてください。
- 手動チャンネル切換スイッチでチャンネルを切り換えることができます。
- 機器間接続例は5ページをご覧ください。

### ④マイクロホンをお使いになるとき

- (1)マイクロホンを前面パネルの②マイクジャックに差し込みます。
  - このとき使用するマイクロホンは、インピーダンス200Ω～50kΩのものをご使用ください。  
またマイクロホンは平衡形、不平衡形どちらでもご使用になります。
  - マイク入力回路にはオートマチックフェーダ回路がついています。マイクでマイク放送するとオートマチックフェーダ回路が働き、BGMテープ放送の音量が低下し、通常の呼び出し案内放送などは、いちいち音量を下げてやる手間が省け、ミュージックサービスプログラムにわずらわされずに明瞭に放送内容を伝えられます。マイク放送が終りますと自動的に元の音量にもどります。



- (2)④マイク音量ツマミをゆっくりと右に回し、お好みの音量になるように調節します。このとき⑥モニター音量ツマミはハウリング(ピー、キーという音)を起こさない位置か、または、「0」にしてください。
- (3)マイクロホン放送が終りましたら、マイクロホンのトクスイッチを「切」にしてください。ご使用のマイクロホンにトクスイッチが付いていないときは④マイク音量ツマミを「0」(左いっぱいに絞った)の位置にするかマイクロホンのプラグをBGM演奏装置のマイクジャックから抜き取るようにしてください。

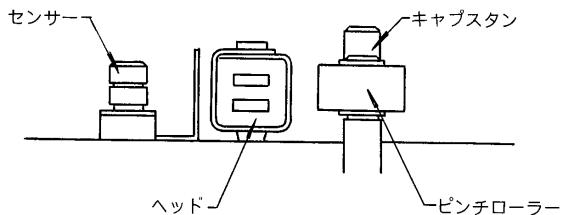
## ご注意とお願い

- (1) BGMテープはカートリッジ差し込み口の右側に沿ってゆっくりと確実に挿入してください。
- (2)「ヘッド」・「キャップスタン」・「ピンチローラー」・「コンタクトポール」は、ドライバーや手で直接さわらないでください。  
ドライバーで「キズ」がついたり手の「油」がついて、音質を悪くしたりテープを巻きこんだりすることがあります。
- (3)「モーター」・「キャップスタン」・「ピンチローラー」には絶対に注油しないでください。すべての回転部分には「ベアリング」を使用しておりますので注油の必要はありません。
- (4)電源ヒューズが切れたときは、内部回路に異常があきたときです。そのときは、その原因を取り除いてから規定の管ヒューズと交換してください。管ヒューズはBGM装置内部に収納してあります。
- (5)テープは必ずフィディリパック型7号、5号、3号カートリッジをご使用ください。

## お手入れのしかた

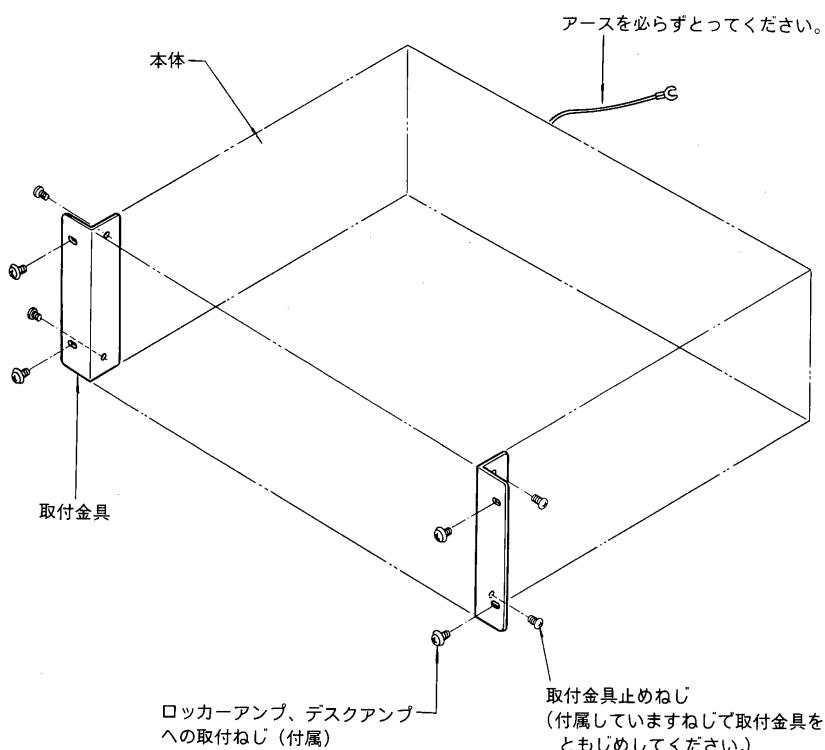
月に一度は必ずクリーニング窓を開けて  
「ヘッド」・「キャップスタン」・「ピンチローラー」・「コンタクトポール」を次のように清掃してください。

- 無水エチルアルコールをやわらかい布(ガーゼや脱脂綿など)にひたし汚れを拭きとります。このときエンジン、シンナーなど絶対に使用しないでください。
- 特に「ヘッド」は、週に一度位清掃するようにしてください。
- ご自分でできないときは、テープ供給会社や、お買いあげの販売店または、お近くの東芝お客様ご相談センターと保守点検サービスの契約を結んでご依頼されると常に安定した状態でご使用になります。



## ロックアンプ、デスクアンプへの組み込みかた

- 本機をEIAサイズのロックアンプやデスクアンプ等へマウントするときは付属の取付金具をご使用ください。



## テープ供給会社名

BGM-3200用テープについてのご相談は下記テープ専門会社へお問い合わせください。

(株) HBCミュージック	札幌市中央区北一条西 5 - 2	( 011) 232-5891
(株) IBC開発センター	盛岡市中の橋通り 2-4-16 やまのえんビル	(0196) 51-1201
山形放送(株)	山形市旅籠町 2-5 山形新聞放送会館	(0236) 22-6161
東北音楽放送(株)	仙台市長町 5-7-2-205 高染ビル	(0222) 48-0236
東北放送施設(株)	仙台市本町 2-10-33 第2日本オフィスビル4F	(0222) 21-2835
(株) オリエンタルエージェンシー	福島市北町 3番30号	(0245) 23-3361
新潟放送興業(株)	新潟市医学町通 2-11 BS N産業会館内	(0252) 23-5631
KNB興産(株)	富山市本町 6-20 (北国ビル)	(0764) 32-8666
(株) 北陸BGM	金沢市本多町 3-2-1	(0762) 23-8100
(株) FBCオンパイ	福井市文京 2-6-27	(0776) 22-4030
(株) エスオーケイ	長野市南県町 680-5 信毎別館	(0262) 33-0121
(株) 日本ネットワークサービス	甲府市富士見 1-4-24	(0552) 51-7111
茨城新聞(株)	水戸市北見町 2-15 茨城新聞社	(0292) 21-3121
(株) IBSサービス	水戸市五軒町 1-3-7 松原ビル 2F	(0292) 25-1621
(株) 音映システム	船橋市海神 1-24-13 双安ビル	(0474) 31-2181
関東音楽放送(株)	浦和市常盤 3-20-8	(0488) 86-8151
埼玉音楽放送(株)	大宮市下町 1-34 第1塙本ビル 7階	(0486) 41-5974
東洋BGM(株)	東京都千代田区紀尾井町 3-23 文芸春秋ビル	(03) 3263-6401
神奈川音楽配給(株)	横浜市中区花咲町 2-70 ミツミビル 103号	(045) 231-2724
(株) コムネット	東京都中央区日本橋馬喰町 2-4-5	(03) 3661-6011
(株) CBCミュージック	名古屋市中区新栄 1-2-8 CBC会館内	(052) 241-8111
(株) 電音システム	名古屋市中川区高畑 3-57	(052) 352-0451
(株) 岐阜放送サービスセンター	岐阜市今小町 11 少将井町239番地	(0582) 64-1151
(株) KBS京都プロジェクト	京都市中京区烏丸通り夷川上ル 京都新聞社南館 6F	(075) 222-1186
(株) OBCクリエイト	大阪市北区西天満 4-3-25 梅田プラザビル 3F	(06) 362-7955
(株) 西日本音楽映像	大阪市北区梅田 1-12-39 新阪急ビル	(06) 343-1621
(株) 朝日ミュージックサービス	大阪市大淀区大淀町 2-2-48 朝日放送内	(06) 458-5321
(株) ラジオ関西事業社	神戸市須磨区行幸町 1-1-6	(078) 731-2251
和歌山放送事業センター(株)	和歌山市湊本町 3-15	(0734) 32-7151
和歌山音楽放送(株)	和歌山市金竜寺町 24	(0734) 24-9067
(株) RCC総合企画	広島市中区橋本町 5-11	(0822) 21-9951
(株) 山陽放送サービス	岡山市浜野 4-2-12	(0862) 62-3381
(株) BSS企画	米子市明治町 63 名島ビル 2F	(0859) 33-0661
高新企業(株)	高知市本町 3-2-15 高知新聞放送会館	(0888) 22-2111
西日本放送サービス(株)	高松市西春日町 大畠 1737-1	(0878) 67-6677
南海放送音響照明(株)	松山市本町 1-2-3	(0899) 41-8333
徳島興発(株)	徳島市幸町 1-6	(0886) 53-5171
九州音楽放送(株)	福岡市博多区東那珂 2-16-4 新聞放送会館別館 3F	(092) 472-6791
(株) RKKサービス	熊本市山崎町 8-8 RKK 第2会館 3F	(0963) 52-3118
NBC興産(株)	長崎市上町 1-35 NBC 別館	(0958) 24-3111
宮崎放送商事(株)	宮崎市橘通り 東 2-3-3	(0985) 22-3333
(株) 南日本BGM	鹿児島市加治屋町 19-10	(0992) 23-8615
(株) RKB毎日ミュージックシステム	福岡市中央区大手門 3-3-8 城北ビル	(092) 771-1231
サン商事(株)	那覇市久茂地町 1-25 嘉数ビル	(0988) 4-6581

## 修理サービス

### (1) 修理サービスについて

- ご使用中に異常が生じたときはお使いになるのをやめ、お買いあげの販売店またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは形名(BGM-3200)およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

### (2) 故障診断について

故障かな?と思ったらちょっとチェックしてみてください。意外な操作ミスが故障と思われています。下記事項をチェックして直らないときは、お買いあげの販売店または東芝お客様ご相談センターにご相談ください。

症 状	チ ェ ッ ク 項 目	対 策
1. テープが走行しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●テープが切れていませんか。</li> <li>●スイッチ操作にまちがいはないですか。</li> <li>●カートリッジは右側いっぱいに、いちばん奥まで差し込んでありますか。</li> </ul>	テープ交換
2. 音が小さい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヘッドが汚れていませんか。</li> </ul>	清掃
自動停止しない。 3. チャンネルが切り換わらない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●センサーが汚れていませんか。</li> </ul>	清掃
4. 音がふるえたり、間のびする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●テープがいたんでいたり、カートリッジが古くなっていますか。</li> <li>●リール台の回転不良はありませんか。</li> <li>●キャブスタン、ピンチローラーは汚れていませんか。</li> </ul>	テープ交換 テープ交換 清掃

## 仕 様

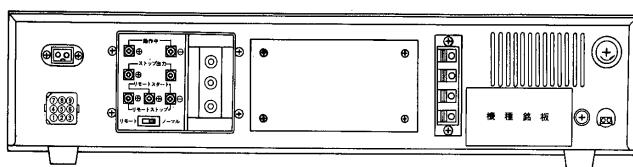
使 用 電 源	AC100V 50Hz、60Hz 共用
消 費 電 力	④28W
定 格 出 力	10W
ひ ず み 率	2%以下
周 波 数 特 性	100Hz~10,000Hz
信 号 対 雑 音 比	48dB 以上
入 力 回 路	外 部 0 dBs 50kΩ 不平衡 (オートフェーダー半固定レベル調整付) マイク -60dBs 5 kΩ 不平衡 CM入力 0 dBs 20kΩ 不平衡
出 力 回 路	ラ イ ン 0 dBs 600Ω 不平衡
テープスピード	9.53cm/sec ± 1%
ワウ、フラッター	0.13%(WRMS)以下
適合カートリッジ	7号、5号、3号 フィディリパック形
テープトラック	2トラックモノホニック
使 用 ヘ ッ ド	8トラック2チャンネルパーマロイヘッド
モ ー タ ー	ブラシレスDCダイレクトドライブモーター
外 観 ・ 色 調	パネル:オフブラックメタリック ケース:ダークグレー
外 形 尺 法	420(幅)×267(奥行)×88(高さ) 単位(mm)
重 量	約6.3kg
付 属 品	ピンプラグ..... 3個 9Pプラグ(電源起動用)..... 1個 9Pプラグ用ピン..... 2個 2Pプラグ(アンプスタート用)..... 各1個 管ヒューズ(0.7A, 1.5A)..... 各1個 取付金具..... 1組(2ヶ) 取付金具止めねじ..... 4個 取付金具用化粧ねじ..... 4個 取扱説明書..... 1部 東芝お客様ご相談センター一覧表..... 1部

# **MEMO**

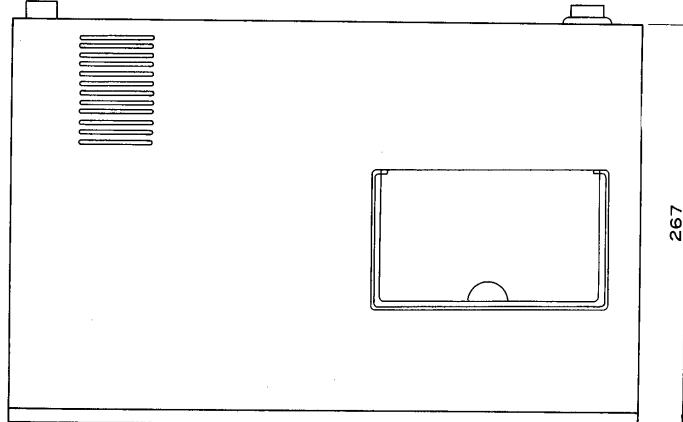
# TOSHIBA

## 外観寸法

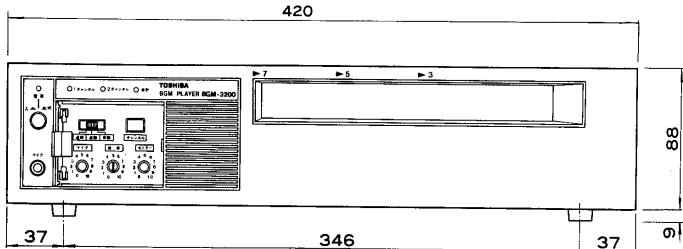
背面



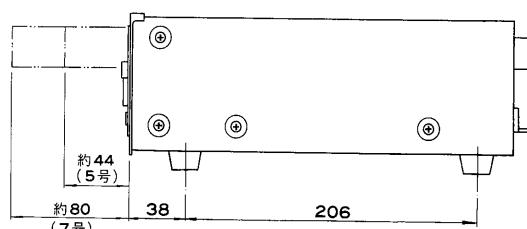
平面



正面



側面



## ブロックダイヤグラム

